

# くさつ☆パールプロジェクトチーム

笑顔でつながる市民の輪



現在、リスト登録者が136名の「くさつ☆パールプロジェクト」。研修や視察などを取り入れた楽しいイベントを企画し、市民間の輪をつなぎ続けています。イベント終了後には、「次回もぜひ参加したい。」と嬉しい声をいただけることも。そんな元気いっぱい活気あふれる団体取材しました。

## 誰もが参加しやすい空気作りを

くさつ☆パールプロジェクトチームは、市民の市政参画を推進するため、公募委員として審議会に参加する市民を増やすとともに、市民間の“きずな”を深めることを目標に活動されています。

市の施設の視察や、カラーコーディネーターやMCタレントといった外部講師による講演、市長や市議会議員との歓談など、市民参加型のイベントを実施し、市民間のネットワーク作りや各自の資質向上を図っています。そして、その趣旨に賛同いただいた方には『パールリスト』に登録していただき、次回のイベントの案内や公募委員募集の周知を行い、参加者を募っています。イベントでは、「誰もが参加しやすい空気作りを常にこころがけています。」という運営スタッフの皆さんに、活動のきっかけや工夫についてお話を伺いました。

活動分野 コミュニティ・市民自治

メンバー数 リスト登録者 136名  
(内:運営スタッフ 4名)

団体設立 2013年 6月 1日

団体ホームページ

<http://kusatsupearl.jimdo.com/>

## ひとりひとりの思いや意見を「大事な声」として届けるために

地方都市でありながら人口が急増している草津市では、女性や若い世代、新興住民との“声のパイプ”が十分に確立されていませんでした。「草津をもっとよくするために、市民の声を届けたい!」という有志の女性たちの強い思いから、『くさつ☆パールプロジェクト』を市に提案し、草津市と市民の協働で取り組んでいくことになりました。草津に愛着を感じながら、自然にひとりひとりの小さな思いや意見が“大事な声”であるという自負と認識を高めていけるような手法として『くさつ☆パールプロジェクト』が生まれ、事業化に至っています。草津市に位置する琵琶湖の内湖は、淡水真珠養殖発祥の地。くさつ☆パールプロジェクトの名称には、一粒の美しさをつなげて、さらに輝きを増すパールネックレスのように市民のネットワークが花開くという願いが込められているそうです。

## 声を出すことから始まる社会参加

活動開始から2年を経て、参加者の意識に大きな変化がありました。最初は運営スタッフ側から背中を押すことでイベントに参加してくれていた方々が、今ではお互いに呼びかけ合い、自発的に参加するようにならってきたのです。パールリスト登録者の約半数は、子育て世代の女性。結婚や出産を機に仕事を辞め、家事や育児に専念している女性にとって“社会復帰”とは、“職に就くこと”だと考えている方も多く、社会と関わりを持つことはハードルが高いと感じていたようです。ところが、実際にパールプロジェクトに参加したことで、思いを声に出して伝えることの大切さや、それができる環境が近くにあることに気づき、「私たちがしている活動も社会参加なんだ！」と自信を持つことができたのです。くさつ☆パールプロジェクトでは、子育て世代の女性も集中して審議会に参加できるように、託児サービスの導入を市に提案しました。試験的に実施されると「そこまでしてくれるなら、やってみよう！」と希望者が増え、現在では託児支援事業として制度化されています。



▼「議員さんと語ろう！」は今では一番の人気企画

## 気軽に発言できることが最高のアイデアを生む

最近では、パールリスト登録者間のつながりが強まってきました。「LINE や Facebook を使えば、家事や育児をしながらでも気軽にみんなと会話ができますよね。その気軽さが社会と関わりたいと思えるきっかけになったのだと思います。」新しい情報共有手段を有効に活用し、今では、会議の場だけでなく SNS を通して積極的に企画のアイデアが出てくるほどです。

運営スタッフの内田さんは、「みんなの意欲を後押ししながら、今後もその輪が広がっていけば素晴らしいことです。市民の思いを行政に伝えながら、課題解決に向かってお互いが働きかける仕組みを作りたいです。」と今後の展望についても語ってくれました。

さらに勢いを増して市民の輪を広げ続けるくさつ☆パールプロジェクトチーム。現在、パールリストには20代～80代まで幅広い世代の方が登録されています。あなたの思いを届けるために、一歩を踏み出してみてもいいでしょうか。



▼古村安来絵先生のカラーコーディネートの講演では参加者が真剣な表情で聞いていました



▼MC タレントの宇野ひと美さん親子(中央)に講演いただきました

## 取材＊メモ

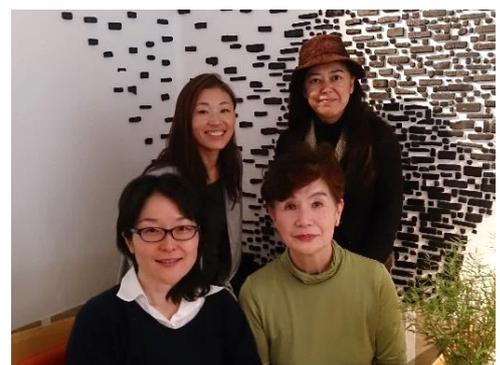
運営スタッフの4人が集まると次から次へとアイデアが出てきて、取材の時もいつの間にか企画会議になってしまうほど。抜群の企画力と行動力を合わせ持つチームの魅力が伝わってきました。



【注釈】 審議会・・・市の政策について、話し合いや提言を行う機関  
公募委員・・・一般市民から選出された審議会の委員

【発行元】 まちづくり協働課

TEL 077-561-2337 FAX 077-561-2482



▼くさつ☆パールプロジェクトの運営スタッフ

〔上〕左から 角谷 貴美子さん、内田 雪絵さん

〔下〕左から 堀江 尚子さん、代表の重原 文江さん